

氏名	大場良子	部署	看護学科	職名	准教授
研究分野	成人看護学、がん看護、緩和ケア、健康心理学				
学位	修士(カウンセリング)				
学歴	1995年埼玉県立衛生短期大学、2002年青山学院大学文学部教育学科、2010年筑波大学大学院人間総合科学研究科博士前期課程修了				
経歴	2004年埼玉県立大学保健医療福祉学部助手、2007年埼玉県立大学保健医療福祉学部助教、2011年埼玉県立大学保健医療福祉学部講師、2018年埼玉県立大学保健医療福祉学部准教授				
所属学会(役職)	日本看護科学学会、日本看護教育学会、日本がん看護学会、日本ヒューマン・ケア心理学会(理事)、日本健康心理学会、日本カウンセリング学会、埼玉県立大学保健医療福祉科学学会				

【2019年度実績】

1. 研究業績						
(1) 著作						
	著作の名称	単・共	ISBN	発行所、全ページ数	著者、編者名	発行等年月
1	該当なし					
2						
3						
(2) 論文						
	論文の名称	単・共	査読	雑誌名、巻(号)、開始-終了ページ	著者、編者名	発表等年月
1	該当なし					
2						
3						
(3) 学会発表						
	学会発表の演題	単・共	学会名、開催都市	発表者(発表者は○印)		発表等年月
1	女性のがん治療後の外見変化とアピランス支援に関する実態調査～患者会の強みを生かした支援の実現化を目指して～	共同	第57回日本癌治療学会学術集会、福岡	○内山由紀、河村裕美、矢後綾子、大場良子		2019.10
2						
3						
(4) その他						
	名称	単・共	発表場所等	発表者(発表者は○印)		発表等年月
1	該当なし					
2						
3						
2. 競争的資金等の研究						
	競争的資金等の名称		研究名	研究代表者・研究分担者の別		研究期間
1	文部科学省・日本学術振興会科学研究費補助金(基盤研究C)		地域包括緩和ケアの充実に向けた家族への教育支援プログラムの開発	研究分担者		2016.4～2020.3
2	文部科学省・日本学術振興会科学研究費補助金(基盤研究C)		中堅看護師の教育力深化を目指したアクティブラーニング型研修の開発と評価	研究分担者		2018.4～2022.3
3	文部科学省・日本学術振興会科学研究費補助金(基盤研究B)		チームの納得を促進するための看護師のコーディネート力向上プログラム開発と評価	研究分担者		2019.4～2024.3
4	文部科学省・日本学術振興会科学研究費補助金(基盤研究C)		小グループ学習法における総括的評価に資するピア評価の確立	研究分担者		2019.4～2023.3

3. 教育業績						
(1) 講義						
	講義の名称	科目責任者	コマ数	概要(教育内容・方法等において工夫した点)		
1	がん看護	○	15	がん医療の基本的知識をはじめ、最新情報を盛り込み、講義だけでなく演習を取り入れて授業を行った。ほか、がん体験者からの講義や、がん体験者との交流会を開催し、当事者の思い考えを共有できる機会をつくった。		
2	成人看護学Ⅲ		1	性と生殖に関する疾患の特徴と、外科治療後の後遺症に対する看護について、動画や人形モデルを活用して講義した。		
3	理学療法学科_地域理学療法学		1	理学療法学科の演習授業において、緩和ケアとリハビリテーションについて講義を行った。		
4	がん看護学概論		15	修士課程2名を対象に、既存の文献をクリティークし、がん看護の基盤となる理論や概念を理解するための支援を行った。自己効力感、行動変容、がんサバイバーシップについて担当した。		
(2) 演習						
	演習の名称	科目責任者	コマ数	概要(教育内容・方法等において工夫した点)		
1	成人看護学Ⅲ		14	PBLを用いて周手術期患者の看護過程の学習を促すための支援を行った。周術期および急性期看護に必要な看護技術の演習を行った。		
2	臨床実践看護		13	臨場的な看護場面を設定し、看護実践能力を養うような演習展開を行った。		
(3) 実習						
	実習の名称	科目責任者	期間	概要(教育内容・方法等において工夫した点)		
1	成人看護学実習Ⅱ		2019.5～2019.6	3年生を対象に、内科病棟を使用して8週間(2週間×4クール)の臨地実習指導を行い、個性性を踏まえた慢性期、終末期看護の理解を促すように関わった。		
2	総合実習		2019.7	4年生を対象に、内科/外科病棟を使用して3週間の臨地実習指導を行い、自己課題が達成できるよう支援した。		
3	成人看護学実習Ⅲ		2019.9	災害看護の理解を深めるために、救急に必要な看護技術演習と救護所設営とトリアージの演習を行った。		
4	IPW実習		2019.9～2019.10	4年生を対象に、IPW実習のファシリテーターとして学習環境の整備とチーム活動を支援した。		
5	看護学演習(がん看護学)		2019.10～2019.12	修士課程2名の学生の研究課題について、関連文献からの絞り込みと、研究課題に応じた研究方法の検討を行い、研究推進への支援を行った。		
(4) 論文指導						
	対象	期間	主指導・副指導の別及び指導人数			
1	卒業研究	2019.4～2019.12	主指導	4名	副指導	名
2			主指導(指導教員)	名	副指導(指導補助教員)	名
3			主指導(指導教員)	名	副指導(指導補助教員)	名
(5) その他						
	名称	期間	概要(教育内容・方法等において工夫した点)			
1	該当なし					
2						
3						
4. 社会貢献活動						
(1) 講演会、研修会、公開講座等の講師						
	講演会、研修会、公開講座等の名称	主催	講演、研修、公開講座等のテーマ	開催年月		
1	エデュケーションナース研修	自治医大附属さいたま医療センター	研修計画立案	2019.11 2019.12		
2	エデュケーションナース研修	埼玉県立大学	実践報告_エデュケーションナース研修「中堅看護師の教育力を高めるためには」	2020.02		
3	新人教育担当(新カフス)研修	川口市立医療センター	新人看護師を育てるとは	2020.02		

(2)国、自治体、学術団体等における委員等				
	国、自治体、学術団体等の名称	委員等の名称	任期	
1	日本ヒューマン・ケア心理学会	理事(研修委員)	3年	
2				
3				
(3)ジャーナリズムでの発言				
	メディア等の名称	内容	年月	
1	該当なし			
2				
3				
(4)その他				
	項目	相手方等	内容	期間
1	地域貢献活動	認定NPO法人オレンジティ	女性特有がん体験者(特に婦人科がん体験者)を対象にしたおしゃべりルーム(交流会)を1回/月開催し、ファシリテーターとして参加支援している。	2019.4~2020.1
2	地域貢献活動	地域住民	地域に住むがん体験者を対象に交流会を1回/2か月開催、運営	2019.4~2019.12
3				
5. 学内運営				
	項目	内容		期間
1	学長指定プロジェクトへの関与	Eプロジェクト研究「シームレスながん医療を促進するコーディネート能力向上プログラムの開発と有効性の検討」		2018~2021
2	全学的委員会及びセンター業務等	保健委員会(禁煙部会、感染症対策部会)		2018~2019
3	学科等における委員会等	総務委員		2019~2020
6. 受賞(研究、教育、社会貢献活動に関するもの)				
	受賞名	主催	受賞年月	
1	該当なし			
7. 特許の取得				
	特許名	特許番号	登録年月	
1	該当なし			
8. 特記事項				